



10月

長い残暑も落ち着き、ようやく秋めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今月は久しぶりに例会を開催し皆様のお元気な姿を見ることができて、私自身も大量のエネルギーを充電することができました。10月24日(土)には川村先生の東海日中関係学会も開催されます。少しずつではありますが世の中の動きを実感できる月になりました。

さて、10月はその川村先生に「コロナ時代の日中関係を考える」というタイトルでご講演をいただきました。当方の不手際で画像を映し出すまでに時間が掛かってしまいましたが、マスクなどの医療品の相互援助の話をはじめコロナ禍の中お互いの国や国民が助け合っている話を聞かせていただきました。

この歴史が今回始まった訳ではなく古くは唐の時代、鑑真和上と長屋王にまでさかのぼるとい話を聞かせていただき改めて日中関係の大切さを認識したと同時に後世にも伝えていかなければならないと感じました。中国との関係は常に「チャイナリスク」といわれるネガティブな部分を考えなければならないのも事実ですが、「風月同天」の精神で今後も交流をしていきたいと思いました。

ところで、本業である日本語学校ですが、ようやく学生の入国に関する具体的な動きがありました。14日間の隔離や日々の報告、PCR検査など尚たくさんのハードルは課せられている状態でコロナ以前のように簡単な渡航ができるわけではありませんが、パソコン画面の向こうでしか見ることのできなかつた学生たちによりやく会える道筋が見えてきました。

今後来る学生がコロナをまき散らしたなどという中傷を受けないためにも慎重に進めていきたいと考えておりますが、改めて新し学生に会えることの喜びをしみしめております。ただ気がかりなのは14日間の隔離そのものです。14日もの間、非常に不自由な生活を強いられることで疲れ切ってしまうのではないかと心配しております。隔離期間中に直接会うことはできませんが遠隔であの手、この手退屈させないように考えていきたいです。

最後にコロナ問題の早期終息を願いながら、この間に準備してきたことを形にできる日を楽しみにしております。

上山 伸治

月例会報告

10月6日の例会は、川村範行氏をお招きして「コロナ時代の日中関係を考える」というテーマで講演を行いました。お話の一部をご紹介します。

2020年といえばコロナという年になってしまいましたが、この状況下でもマスクの相互配布などお互いに助け合えた部分が大いにある。近年の話であればコロナに限らず、SARSのとき、四川大震災のとき、東日本大震災のときなど相互に助け合ってきた歴史がある。

そのような話を川村先生の実体験も交えながらお話をいただきました。

日中関係の政治的な歴史や背景、古くは鑑真和上と長屋王との関係に遡りながら長屋王の送った漢詩「風月同天」という考え方は現代においても共感できる内容で、コロナ禍において中国の方々から見直される概念となった。

チャイナリスクという難しい面はあるにせよ、やはり歴史的に大変近い国であり、思想や文化など分かり合えることも多いと感じた。



今後の国際社会は中国無しでは考えられないことも事実なので、より上手にお付き合いをしていく必要があると感じました。

10月に入り少しずつ動きが出てまいりました。

非常に厳しい条件ではありますが学生の受入れも可能になってきました。来日後14日の隔離期間を経て学校での学習が始まります。

ただ起点となる来日の日程が確定していないことと、分散して入ってくることを考えるとしばらく時間は掛かりそうです。

また在校生も卒業まで残すところ半年を切り、いよいよ進学シーズンも佳境に入ってきております。

来月11月には日本留学試験、12月には日本語能力試験が控えており試験に向けて真剣に学習に取り組んでいる姿が見られます。

特に今年はコロナの影響で休校になった時期もあり例年以上に対策をしっかりとらせております。



成語故事コーナー

tiěchǔchéngzhēn

铁杵成针 (鉄杵を磨いて針となす)

唐の時代、李白は幼い頃、勉強が嫌いでよく学校をさぼって遊んでいました。

ある日、李白は遊んでいるときに太い鉄の棒を磨いている老婆に出会いました。老婆は石の上で一心不乱に鉄の棒を磨いています。

李白は不思議に思って老婆に訊ねてみることにしました。

「お婆さん、それは何をしているん

有名な李白のエピソードです。一生懸命努力すれば何でも達成できる、という意味の言葉です。

この故事成語を調べていると「只

ですか?」するとお婆さんは言いました。

「この鉄の棒を磨いて針にするんだよ。」

李白は驚きました。

「その鉄の棒が針になるの?」

老婆は笑いました。

「無理だと思うかい? 大事なのは続けることだよ。この鉄の棒が針になると信じて、とにかく磨き続けれ

要功夫深、鉄杵磨成針 (とにかく努力を続ければ、鉄の針を磨いて針にもできる)」ということわざが頻繁に登場します。中国人に聞いてみた

ば、いつか針にもなるんだよ。坊やには分からないかもしれないが、人よりも努力すれば、私のような老人でも何だってできるのさ。」

李白は老婆の話聞いて、学校をさぼってばかりいる自分が恥ずかしくなりました。それ以来、学校をさぼらずに勉強を続け、遂には有名な大詩人となったのです。

ところ、普通に使われるのは「只要功夫深、鉄杵磨成針」の方で「鉄杵磨成針」はあまり聞かないと言われてしまいました。

漢方教室 118 血圧が気になる方に

高血圧治療のために薬を飲み始める人は多いと思います。しかし、一度服用し始めると、一生飲み続けなくてはならないので、薬を飲む前に何とかしたいものです。そこで注目されているのが『ペプチド』です。また、抗酸化物質の『ポリフェノール』や『リコピン』も注目されています。

【コマペプチド・イワシペプチド】

ゴマペプチドは、ゴマから抽出される必須アミノ酸の結合体です。様々な要因により体内でつくられる血管収縮物質の生成を抑えることによって、高血圧に対する効果が期待されています。イワシペプチドは、イワシのたんぱく質を酵素で分解し

た健康成分です。バリンチロシンと呼ばれる構造を持っていることが特徴です。バリンチロシンには、血圧を降下させる働きがあるとされています。

【ポリフェノール】

ポリフェノールは果実などに含まれる抗酸化物質で、特にブドウに多く含まれています。植物が若々しさを保っているのは、植物自らが作り出しているポリフェノールのおかげです。

【リコピン】

リコピンは、緑黄色野菜に多く含まれるカルテノイドの一種で、特にト



す。その錆びないパワーはβカロテンの2倍、ビタミンEの1000倍です。

日本安恵の『適圧』は、ゴマペプチド、イワシペプチドのほかポリフェノールを多く含むブドウ種子エキスやトマトリコピン、黒酢エキスなどをバランスよく配合したサプリメントです。



興味のある方は

052-242-3930まで。

中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに④

昭和29年高校の入学試験に合格し、4月岐阜県立土岐高等学校に入学しました。土岐高校の前身は、農林学校でしたが、私が入学したころは、普通科、商業科、農業科のある学校になっていました。

先生方の出身校が、東大、京大、一橋、名大、旅順師範（満州にあった）、名古屋高等商業学校（名古屋大学経済学部の前身）等多士済々で田舎の高校によく集まったものだと感心しました。私が思うに、戦後の混乱した時代、職を求めて、つてを頼りに田舎の学校にやってきたのではないのでしょうか。ユニークな先生方が多かったように思います。五味川純平の「人間の条件」のモデルになった人がこの学校にいるといった噂話が出たこともありました。

1年生の社会科の先生も変わっていました。社会科の時間に英和辞典を持って来るように言われ、持って行ったところ、英文が書いてあるプリントを2枚渡され、訳してノートに書きなさいということで、中学校の英語も満足に身につけていないものにとっては大変なことでした。1時間かけて1行の単語の意味が分かるくらいで、文章にすることができませんでした。難解な語彙ばかりで、何が書いてあるかさっぱり分からず、授業後級友に聞いても首をかしげるばかりでした。

杉本 克治

10月誕生日の人の言葉

今年はコロナで本当に大変です。初めの頃は、中国に居る親せきたちのためにマスクや消毒を送ろうと頑張っていました。しばらくすると日本でもコロナが広がり、国際郵便も止まってしまい、中国へ荷物を送ることもできなくなってしまいました。

甥はしばらく日本で暮らしていましたが、昨年の暮れに中国へ帰り、コロナの騒動が起きました。生活も苦しく、学校や病院も大変なので、甥はできればもう一度日本へ来て、日本の小学校へ通いたいと準備もしていました。しかし、日本のコロナも安心ではなく、やはりそのまま中国で小学校へ行くことにしました。

私の子どもも心配です。一歳半になりましたが、一歳半検診はコロナのせいで4カ月くらい延期になるそうです。小児科では心の成長が遅れていると言われたので、子供教室や保育サークルに通うことにしました。甥が来れば良いお兄ちゃんになってくれたと思うのに、とても残念です。

媛

エンタメ紹介

明蘭～才媛の春～

中国では2018年末ごろから放送され、話題になったドラマです。日本でも今年の6月からDVDレンタルが始まっているので、現在では全国のレンタルショップで借りることができます。また、BS11では11月9日から毎週月曜～金曜、午後3時29分～4時30分で放送されるそうです。

物語の舞台は950年ほど前の北宋の時代。主人公である盛明蘭は、盛家という役人の家で妾の子として生まれます。もう一人の妾の計略によって実母を失った明蘭は、祖母に育てられ、目立たないように暮らしながら力を蓄えます。

もう一人の主人公である顧廷燁は、侯爵家の次男です。母の実家である白家の莫大な財産を相続した廷燁ですが、そのせいで白家からは目の敵にされてしま

ます。また、侯爵家では父や兄と対立し、唯一の味方だと信じていた継母・小秦氏にも騙され、顧家を追われることとなります。

明蘭は廷燁と結婚し、顧家と白家の中で翻弄される廷燁を助けながらその存在感を強めていきます。そして、二人で力を合わせて新しい皇帝と皇后を支える重鎮として活躍します。



お知らせ

★11月例会

11月例会は祝日のためお休みです。

★JCCA 中国語サロン

日時：11月7日（土）21日（土）14：30～

★日本語広場

11月の日本語広場はお休みです。

★12月例会

日時：12月1日（火）18：00～

12月例会は恒例の忘望年会です。

★第15回 名古屋中国春節祭

日時：2021年1月9日（土）

～11日（月・祝）

国連創設 75周年記念友好コンサート

10/24（土）に国連創設 75周年を祝して、急遽アジアの第二会場（第一会場は南京）として金山のフォレストホールで記念コンサートが行われました。

時間的制約がある中、チャン・ビンさんのご尽力で、世界的指揮者の飯森範親さんや中部フィルハーモニー交響楽団、チャン・ヒナさんなど非常にレベルの高い記念コンサートになりました。

改めて、日ごろ気さくに接してくださるチャン・ビンさんのお付き合いの広さに感銘しました！

第15回 名古屋中国春節祭

今回も、日中文化協会はブースを出します。

販売品の値付けやイベントの提案、当日の当番等、ご参加・ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。

また、バザーの品物のご提供もお待ちしております。小物、衣類、書籍等の新品又は新品に近い不要品がありましたら、是非お持ち寄りください。



第15回桜二胡音楽会 2020

風月同天 紅葉の調べ

日時：11月29日（日）

15：00 開演

場所：名古屋市公会堂（鶴舞公園内）
名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号

アクセス：地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」4番出口
市バス「鶴舞公園前」
JR中央線「鶴舞駅」

演奏予定曲：「川の流れのように」「風月同天」
「茉莉花～紅葉」など

お問合せ：NPO法人チャン・ビン二胡演奏団
TEL：052-763-1082

愛知県・ビクトリア州・江蘇省 友好提携40周年記念フォトコンテスト

展示期間：2020年11月2日（月）～8日（日）

展示会場：ららぽーと名古屋みなとアクルス1階

友好提携40周年を記念し、ビクトリア州や江蘇省、オーストラリアや中国に関する思い出の写真を募集し、国内外から応募された235名585作品の中から、県の審査により選ばれた優秀作品約200点が展示されるそうです。

そして、平成16年度遣中使の竹内佑磨さんが撮った江蘇省の写真が、愛知県の記念フェスティバルで選ばれました！ご都合宜しければ、足をお運びください。

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館
TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036
一般社団法人日中文化協会 編集長 上山耕治